

メディアスエフエム第92回番組審議会 議事録

1. 審議日程

令和5年3月15日(水)

2. 場 所

書面審議による

3. 審議者 ※敬称略、五十音順

出席委員) 市野恵、片山麻有、関雅夫、森岡厚喜

欠席委員) 加藤龍子、下村一夫

以上4名出席

4. 議 題

(1) 報告事項(書面送付にて)

- ・2, 3月の活動報告
- ・今後の活動予定

(2) 番組について審議

5. 審議内容

番組審議「3月8日放送 メディアススタジオ」

概 要: 毎週水曜日11:00~11:30に放送中

東海市・知多市で活動する方にインタビューして活動内容や魅力を伺う

東海市消防団第8分団員 市林龍志さんをゲストに迎え

市林さんが東日本大震災の被災地で感じたことなどを紹介

- 市野委員 /
- ・若いゲストの気持ちや考えを引き出すパーソナリティ神谷さんの質問力の高さ、まとめ方に興味した。
 - ・防災について、日頃からの挨拶が非常時の安否確認に役立つ、帰宅困難になったことを想定すること、対策としてハザードマップを活用するなど、勉強になった。
 - ・小学3年生の児童による「防災宣言」は家庭内での防災・減災の取り組みが進む良い機会になると感じた。番組内で神谷さんがまとめていたが「今更」では無く「今から」を実践していきたいと思う。

- 片山委員 / ・自分が消防士・消防団の人たちと知り合ったのが2月頃だったのでとても身近に感じた。
- ・学生で消防団に入って、とても志の高い人と感心した。
 - ・女性も入団しているとのことで男性ばかりでは無いことを知れた。
 - ・消防団の方が普段どんなことをやっているか知る機会が無かった練習のことを聞いて良かった、自助公助も分かりやすかった。
- 関 委員 / ・被災地訪問、消防団の入団動機などのエピソード、中身も興味深く聞いて適切な人選である。
- ・パーソナリティが消防団の活動、意識の変化、リスク想定、今後の防災、メッセージなどをうまく引き出して実体験から来る言葉の重みを感じた。
 - 「自助をより意識する」、「記念日は次の災害に備える日」はなるほどと感心した。
 - ・番組最後で「記念日というのは思い出す日では無く、次の災害に向けて一つ活動する日」、「防災に今更は無い」というまとめが素晴らしい。
 - ・この番組は出演者がどれだけ興味あるコメントを発信できるかがポイントうまく引き出してあり良かった。
- 森岡委員 / ・こんなにしっかりした考えで消防団員をしている方がいることに感動。
- ・以前、「団員不足で困っている」と消防団員に相談されたことがある、その時、私も震災復興の活動をしていたので釜石へ団員2人を連れていったことを思い出した。
 - ・一人でも多く消防団員の意識が変わる、地域の見方が変わる、こんな番組が放送されるところを期待したい。とても良い放送でした。

6. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

自社ホームページ（URL）への掲載（2023年4月3日）

以上

文責：地域情報部 加藤嘉章